

節電のお願い

15%削減を目指しましょう

熱中症に注意し、無理のない範囲で協力ください

東日本大震災により、この夏の電力供給不足が見込まれます。現在、電力の約30%は家庭で使われていますので、ご家庭においても夏（7～9月）の節電に取り組んでいただきますよう、ご協力をお願いいたします。すでに節電されているご家庭においては、引き続きご協力をお願いいたします。

なぜ節電するの??

東京電力はこの夏の1日の想定最大需要（使用量）は6,000万kw、供給できる電力は1日最大5,380万kwとしています。そうすると620万kwの電気が足りなくなると予想され、大

規模な停電を避けるためにも企業・家庭において節電に取り組む必要があります。なお、5月13日に電力需給緊急対策本部の発表により、家庭における削減目標は15%とされています。

平日の午前9時～午後8時を中心に節電しましょう!

平日の午前9時～午後8時の間は電力需要が高い時間が続きます。特に午後2時頃は全体の電力需要のピークとなりますので、日中（午前9時～午後8時）の節電にご協力ください。また、家庭では夕方から夜にかけて電力需要が増えますので、この時間帯の電気の使い方を見直してみましよう。

夏（日中）の消費電力の約半分がエアコン

夏の午後2時頃の在宅世帯では平均で約1,200Wの電力を消費しており、エアコンが約半分を占めています。外出中の世帯でも待機電力等で平均で約340Wの電力を消費しています。

主な節電対策

節電効果の記載値は資源エネルギー庁の推計で、在宅世帯の日中の平均的消費電力（午後2時～約1,200W）に対する削減効果です。

エアコン

- ◆室温は28℃を心がけましょう。（設定温度を2℃上げた場合） **10%削減**
- ◆「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげましょう。 **10%削減**
- ◆無理のない範囲でエアコンを消して扇風機を使いましょう。 **50%削減**

※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になりますので注意しましょう。

冷蔵庫

- ◆冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品の詰め込みすぎには注意しましょう。 **2%削減**

照明

- ◆日中は照明を消して、夜間の照明もできるだけ減らしましょう。 **5%削減**

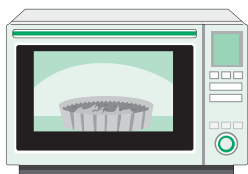
その他

- ◆テレビを省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消しましょう。 **2%削減**
- ◆炊飯器の使用は早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。 **2%削減**
- ◆電源を切る際は主電源を切り、長時間使用しない機器についてはコンセントからプラグを抜いて、待機電力を減らしましょう。 **2%削減**

消費電力の大きい主な電気製品

電気製品	定格消費電力
掃除機	1,000W
ドライヤー	1,000W
洗濯乾燥機	1,100W
エアコン	750～1,100W
ジャー炊飯器	1,300W
電子レンジ	1,400W
アイロン	1,400W
IHクッキングヒーター（3口）	5,800W

出典：資源エネルギー庁調べ



問い合わせ先

環境課

☎40-5559